## allcinema

## みどりの瞳(1964)

GIRL WITH GREEN EYES

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 イギリス

色彩 B&W

**時間** 91分

初公開日 1966/10/16

公開情報 UA

## 【解説】

アイルランドの人気作家E・オブライエンが自作小説『孤独な娘』を自ら脚色したシナリオを、カメ ラマン出身のデイヴィスが初演出。撮影がやはり生き生きと素晴らしく60年代前半の英国映画の新鮮 なムードを体現している、R・トゥシンハムの"キツネザルのような"可憐さと繊細さに心揺さぶられ る秀作だ。ヒロイン、ケイトは修道院学校の同窓バーバラと共に都会ダブリンに出て、青春をエンジョ イしている娘で、バーバラのBFと共に犬を売りに行った先の作家ユージンに密かに恋する。ケイトも またF=S・フィッツジェラルドを愛好する文学少女で、食糧品店のレジをしながら『夜はやさし』を 読む。本屋でのユージンとの再会。初めはバーバラを交えて会っていたが、そのうち二人きりで会うよ うになり、彼を自分の下宿のお茶に呼び、また、彼の郊外の屋敷にも招かれる。結婚を前提とした交際 で、何もせずベッドを共にする奇妙な晩も。が、彼には離婚手続でアメリカに赴いた(アイルランドは カソリック国で離婚が許されない)妻と娘もあった。悩むケイトだが、強権的な父や叔父たちの襲来に 一旦は故郷に連れ戻されても、彼のもとに逃げ帰り、同棲生活に入る。けれど、彼のスノッブな友人に バカにされたり、そんなぬるま湯的なサロン会話を懐かしがる彼とはやはりすれ違いができてしまう。 その溝を埋める術を知らぬまま、バーバラを頼った彼女をユージンは見捨て、彼女はバーバラと共にロ ンドンに渡って夜間学校に通い、新たな世界に目を開くのだった……。優柔不断な中年作家をP・フィ ンチが好演。細かなユーモアをちりばめた感受性豊かな初恋物語のこのテイストは、自らのメガホンで は出せぬと悟ったか、フリーシネマの雄、リチャードソンは今回製作に回っている。

## 【クレジット】

監督 デズモンド・デイヴィス Desmond Davis 製作 トニー・リチャードソン Tony Richardson 原作 エドナ・オブライエン Edna O'Brien 脚本 エドナ・オブライエン Edna O'Brien 撮影 マニー・ウィン Manny Wynn 音楽 ジョン・アディソン John Addison 出演 リタ・トゥシンハム Rita Tushingham ピーター・フィンチ Peter Finch リン・レッドグレーヴ Lynn Redgrave T・P・マッケンナ T.P. McKenna マイア・キーン Maire Kean ジュリアン・グローヴァー Julian Glover アイリーン・クロウ Eileen Crowe